

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されております。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して職員の配置数は適切であるか。	6		国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名までに2人、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員がおります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		6	玄関付近および勝手口は段差があるため、転倒やケガの防止に十分配慮しながら見守りをおこなっております。室内は段差のないフラットな構造となっており、安全に過ごせる環境づくりに努めております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		日々、清掃・消毒をおこない清潔保持を徹底しております。一人ひとりがゆったり、心地よく過ごせるように配慮しております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		事業所内に個室は設けておりませんが、児童の活動内容や状況に応じて空間の使い分けをおこない、安心して過ごせる環境づくりに努めております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		日常のミーティングやリフレクション会議等で、情報共有や話し合いをおこない、現状把握と改善点を討議しております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		年1回のアンケートを実施し、保護者様からいただいたご意見を職員間で共有しながら、業務改善につなげております。	
	8	職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		日常のミーティングやリフレクション会議等で、情報共有や話し合いをおこない、現状把握と改善点を討議しております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		年間予定を立て、定期的に事業所内外での職員研修をおこなっております。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		公式Webサイトにて公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		アセスメントを通して児童や保護者様のニーズを把握し、客観的な視点で踏まえた適切な計画作成に努めております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		モニタリング実施後、児童の状況や保護者様のニーズを把握、分析し、個別支援計画(原案)を基に個別支援計画策定会議を実施し、関わる職員からの意見を話し合い、より良い支援を目指しております。	
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		利用児童の課題を共通認識し、課題の達成に向けた支援内容を共有しております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		モニタリング時の聞き取りや日々の療育記録を活用し、児童の状況把握に努めております。	
	16	児童発達支援計画は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		支援の計画は児童発達支援ガイドラインに基づき、【本人支援】の5領域より現在と当面の生活の現状等を踏まえて、児童の育ち全体に必要な支援を組み立てております。 【家族支援】・【移行支援】においても合わせておこなうことを基本としております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		有資格者がそれぞれの立場から意見を出し合い、児童の年齢や特性を加味しながら、全職員で話し合い立案しております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		季節ごとの行事、イベントを工夫しながらおこなっております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		児童の特性や保護者様のニーズ、活動時間に応じて、個別活動と集団活動を適切に組み合わせた支援をおこなっております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		支援開始前に当日の予定や支援内容について職員間で確認する時間を設け、連携した支援に努めております。	
	21	支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	6		支援終了後もしくは朝会時など職員間で振り返り等をおこなっております。送迎等で不在の職員には口頭や職員ノートを活用し、児童の様子や反応、支援の方向性について周知、共有しております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		支援内容だけでなく、その日の児童の様子など正確に記録することを徹底しており、次の支援担当者への申し送りや職員間での共有を図りながら、支援の改善に努めております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しを必要を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		定期的にモニタリングを実施し、児童の状況や保護者様のニーズを把握・分析したうえで、計画の見直しに努めております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		対象児童について、事前に職員間で話し合い、現状把握のうえで、児童発達支援管理責任者が担当者会議に参画しております。	
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		協力医療機関初め、行政や保育、学校などと常に連携し、必要な支援をおこなっております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		移行支援をおこなうことで、地域の保育などの支援を受けられるようにしていくとともに、同年代の児童との仲間作りに向け、支援内容の情報共有と相互理解を図っております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		個人情報に十分留意し、必要に応じて各関係機関において情報共有と相互理解を図っております。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6		同一法人内のセンター機能を有する事業所と連携し、助言や支援の質の向上に努めております。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6		コロナ禍以降交流はできておりませんでした。	今後については状況を鑑み、保護者様からのご意向もあがりながら交流の機会を検討してまいります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6		日頃から保護者様との情報交換に努め、連携を図っております。随時その情報を職員同士が共有、更新できるよう報告し合い、記録するなど把握に努めております。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		送迎などの機会に保護者様からのお悩みやお困りをお聞きし、必要な助言や効果的な支援方法などをその都度お伝えするように努めております。また療育上必要でご家庭での協力が仰げるものはご提案し、可能な範囲で取り組んでいただいております。		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時には重要事項説明書を用いて丁寧に説明をおこない、保護者様にご理解いただけるよう努めております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		児童および保護者様の意向を尊重し、最善の利益を考慮した計画作成に努めております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		ガイドラインに基づいて個別支援計画を作成しております。保護者様への説明とご理解いただいた上で同意を得ております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		日頃から相談や申し入れに対して迅速かつ適切に対応できるよう努めております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		コロナ禍以降交流はできておりませんでした。	感染症予防の観点から積極的な開催は自粛しておりますが、保護者様の要望があれば検討してまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもに保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		保護者様からのご相談などの際には、その都度迅速かつ丁寧な対応を心がけております。ご相談いただいた内容は職員間で共有し早期解決へ繋がるよう対応してまいります。	
	41	定期的に通信等発信することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		公式WebサイトやSNS、HUGマイページを活用し、療育内容や活動の様子について分かりやすく情報発信に努めております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報の使用や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、鍵付きの書庫にて厳重に保管しております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		児童や保護者様との良好な関係構築を目指し、伝え方や手段に配慮しながら意思疎通に努めております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		事業所内に招待するイベントは行っていませんが敷地内の大家さんとの交流(手紙交換・野菜栽培)をおこなっております。	今後については状況を鑑み、保護者様からのご意向もあがりながら交流の機会を検討してまいります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		各種マニュアルを掲示し、職員および保護者様が確認できる環境を整えるとともに、定期的に訓練を実施しております。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		避難訓練は年間計画を立て、児童も参加して定期的に実施しております。訓練の様子は事業所だよりを通して紹介しております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		アセスメント時に把握した情報を職員間で共有し、適切な対応に努めております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		指示書がある児童については保護者様と情報共有をおこない、各児童のアレルギーに関しては一覧表を作成して全職員に周知しております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画を作成し、常に閲覧できる状況にあります。安全管理に必要な研修や訓練などを実施し、児童の安全を第一に考え支援をおこなっております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		安全計画に基づき、避難場所等について保護者様へ周知し、連携を図りながら安全確保に努めております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	6		ヒヤリハット報告を徹底し、紙面に残して回覧し周知ミーティングをおこないつつ再発防止に努めてまいります。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		事業所に虐待防止責任者を選定し、事業所内研修を実施し認識を深めております。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		利用契約書に原則として身体拘束の禁止を記載しておりますが、やむを得ず必要となる場合には、事前に十分に説明し保護者様の承諾を得て支援計画に記載しております。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体でおこなった自己評価です。